

教育合同

2022年6月15日
第684号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka (EWA)
発行人 増田 俊道
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

第34回定期大会 コロナ下でこれからの労働を考える

5月21日、第34回定期大会がエルおおさかを会場にオンラインとの併用で開催されました。対面型と言われるようになった通常の大会開催は2019年度以来となりましたが、来賓やゲストを迎えず、そろりそろりコロナ下での活動を探りました。

22年度方針案に対し、高校支部から女性問題に関する多数の修正案が出されました。「性の多様性」が社会的注目を集めるなか、学校現場にもその流れは確実に広がっています。改めてこれらの問題についてあらゆる視点から議論していく必要性が訴えられました。本部は修正案の一部を受け入れるとともに、今後、学習会を行っていくこととしています。

また、大会では分科会も行われました。各分科会の様子を以下に報告します。

酒井さとえ(書記長)

第1分科会



「部活動問題」

長時間労働の大きな原因、クラブ活動。社会体育への移行がやっと文科相より出され、各地教委が努力中ということですが、全員顧問制の壁の脱出さえ出来ていないのが現状です。他にも大きな壁はあります。中体連・高体連の存在、学校単位での登録の見直し、社会体育の指導者・活動場所



の見直しはあるのか、移行期間中、この理不尽な働きかたが続くのか、話題は尽きません。文化部も同様です。イギリスでは、学校クラブなどなく、最初から地域活動。他国の様子を聞きながら、青少年のスポーツとの関わり方から考え直さないと壁の突破は難しいと認識を新たにしました。

第2分科会

「コロナ禍での労働条件」

コロナ禍の中、職場の消毒、学習環境を整えながら、学習を進めていくために職員がプリントを作成し、各家庭に配布しました。豊中支部からは、新学期が始まる前の現場での教科書配布が問題となりましたが、行政の仕事であることを確認したとの報告がありました。オンライン学習のための研修、機器の整備等も取り組まれましたが、機器の整備は若い職員や担当者を中心に行われたため負担に感じた職員もいます。

また、コロナ禍の中で出された働き方改革の進言により、行事の在り方も変化しています。

第3分科会

「ICT教育のあり方」

コロナ禍で一気に進んだGIGAスクール構想については

通産省主導のもとに行われ生徒、児童の個人情報漏洩の問題があり、メディアリテラシーを避けて通れないという指摘がありました。また、昨年の大阪市長の突然のオンライン授業導入のトップダウンによる現場の混乱や、大学ではオンライン授業の準備にかかる、とりわけ非常勤講師の負担、労働強化に組合として今後どうとりくんでいくかが問われてくるのではないかと意見が出されました。

当面の日程

- 7月3日(日) 13:30~16:30
国労大阪会館2階第2会議室
第5回領土教育研究会
「教科書の領土問題記述検証」
講師: 黒田伊彦・久保井規夫
- 7月17日(日) 10:00~16:30
エルおおさか 5階大会議室
「日の丸・君が代」問題等
全国学習・交流集会
5月21日、第34回定期大会がエルおおさかを会場にオン

第4分科会

「英語で運営する分科会」

- ALT news. Reported to the group on the good news from Amagasaki about our branch member who will turn 65 this year. EWA has successfully negotiated for the city to eliminate the retirement age limit not only for our member but all city workers. This will set a precedent for other cities to follow. Amagasaki has also introduced out-sourcing for ALTs including several from countries where English is not a 'native' first language. We need to fight out-sourcing. University members reported that their universities were actually using on-line 'classes' with instructors in the Philippines for some non-credit classes.

- University news. Reported that there has been a huge increase in working hours with no increase in compensation due to the changes caused by COVID19. Members have been suddenly required to use and be proficient at various new on-line teaching platforms and software. They have must teach not only in-class but also on-line and on-demand at the same time. The retirement age continues to be an issue at Kindai and other universities. At Kindai it appears the limit has been raised to 66 and may eventually reach 70.

But, there is a lot of confusion and if this applies to all departments and campuses. More effort is needed to fight the retirement age limit.

- EWA and the press. We heard from our Osaka-fu member who is very skillful at using the press to gain public understanding and support for various causes. He suggests EWA and the TNC in particular should be communicating with and more actively trying to use the press to report on our issues.

- And most importantly, we discussed our long term member who is battling cancer. Shockingly, he is also having to fight Osaka City University because of his treatment. We need to support his efforts.

老朽原発このまま廃炉！原発に頼らない明日を

5月29日、うつぼ公園で「老朽原発このまま廃炉！大集会inおおさか」が開かれました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響で全国の仲間の結集は難しかったのですが、今年は首都圏、青森、島根からも参加し、2000人を超える仲間が結集しました。

ウクライナ危機で

原発の危険性がさらに高まる



この間、ウクライナ危機に乗じて「核共有」などが言われていますが、明らかになったのは、原発への攻撃・占領が自国にとって脅威となることです。2011年の福島第一原発事故から11年の月日が経ちましたが、未だ問題が終息したわけではありません。福島から関西に避難してきた被災者は、被災当時、原発の状況が全く明らかにされずどれほ

どの恐怖を味わったかを訴えました。また、青森からは「核のゴミ捨て場」とされることの危険性が訴えられ、原発がある限り、使用済み核燃料も抱え続けることを明らかにしました。そして、全国各地で老朽原発を再稼働させようとする動きがあります。ここ関西では、40年をはるかに超えた老朽原発の再稼働が画策され続けています。これらの動きを押しとどめるためには、最悪な原発事故を起こしたこの国に住む人たちがもう一度真剣に考え直さなければなりません。そのために、次

期参議院選挙で反原発を訴える候補者を一人でも多く国政に送る必要性が訴えられました。

原発のない明日のために

汚染水、汚染土、核のゴミ、考えれば考えるほど、原発は未来に負担を押し続けるものです。集会終了後、30度を超える暑さのなか、この強烈な自然エネルギーをもっと有効に活用する技術を開発することはできないものかと考えつつ、御堂筋をなんばまでデモ行進し沿道の人々に反原発を訴えました。

酒井さとえ（書記長）

文化おちこち (246) サンフランシスコ・ベイエリア鑑

(3) 教職員組合のポスター

サンフランシスコの近郊にあるバークリー (Berkeley) 市は、人口は12万人を少し上まわるくらいですが、その成人学校には英語を第二言語として習得する人たちを対象とする無料の教室が複数開設されています。公立というのも移民国家の面目躍如ですが、戦前には本願寺の布教師も通ったと聞きます。

COVID-19ワクチン接種を条件に対面授業が再開されていますが、英語教育をほとんど受けていない人の多いクラスもあれば、カリフォルニア大学バークリー校の門前町という事情から配偶者が訪問研究者や留学生だという人が多いクラスもあります。中南米出身者が多いですが、西アジアのイエメンやアフガン、あるいはアフリカのアルジェリアやエリトリアなどから来ています。聞けば、イエメン出身者がバークリーに集まっているそうです。

教材は、日本の中学校や高

校で教えるくらいの基礎的な文法に加えて、短いコラムを読ませたり、小切手の書き方、求人広告の読み方、住まいにかかわる慣用表現などにわたり、本来は移民の労働力化、社会統合のために用意された教育機関なのだろうと思いません。その点で興味深いのは、教室の募集はスペイン語併記で、どのような法的地位で合衆国内にいるのかを問いませんと掲げられていることです。

高齢者も見かけます。移民として休みなく働いて、子どもたちも学校を卒業させたからと通ってきた韓国出身女性もいたそうです。

写真は、廊下に掲示されているポスターです。公立学校教職員で組織されている組合で、全米教員連盟に加盟するバークリー教員連盟が、人種差別に抗議するメッセージを掲げています。

(紫ワニ)



復活EWAセミナーに参加を

今年4月30日に誕生したウトロ平和祈念館を中心にフィールドワークをします。オープンセミナーなので、組合員以外の参加も歓迎です！

日時：2022年8月2日（火）
14:00～17:00

行先：ウトロ平和祈念館
最寄駅 近鉄京都線「伊勢田駅」

集合：どちらでも可
13:30「伊勢田駅」西出口
13:45「ウトロ平和祈念館」
(駐車場も8台分あります)
*終了後、近くの焼肉店「海雲亭」で交流会
(自由参加・各自実費負担)

参加費：組合員は無料
組合員以外は1000円
(入館料300円を含む)

申込み：7月20日（水）〆切
組合事務所へ

- ①お名前 ②参加人数
- ③連絡先
- ④集合方法（車かどうか）
- ⑤交流会参加の有無

をお知らせください
(できるだけメールをお願いします。)

定員：20名

Tel 06-4793-0633

Fax 06-4793-0644

メール info@ewaosaka.org

増田俊道（執行委員長）



写真は、5月5日に開催された、「ウトロのためのコンサート」

EWA I R 誘致の是非を問う住民投票署名が必要数達成▼I Rに先立つ大阪万博についての住民投票も必要では▼両者とも夢洲が会場で、地盤改良や土壌汚染、及びアクセ

ス路建設に多額の税金が▼コロナ禍再燃が懸念される中、「無観客万博」や「客無賭博場」は有り得ない▼コロナによる累積死者数が全国No. 1の大阪での万博▼テーマの「いのち輝く未来社会のデザイン」が虚しい。